



クラウド型運行支援サービスに  
「急ブレーキ多発マップ機能」追加  
▷トランストロン

富士通グループの(株)トランストロン(本社・神奈川県横浜市、加藤祐三社長)は、急ブレーキ多発マップ機能をもったクラウド型運行支援サービス「ITP-Web Service PS」を販売開始した。

急ブレーキ多発マップ機能は、富士通製ネットワークデジタルタコグラフ「DTS-C1」を装着した全国約1万台の商用車から、

急ブレーキ情報を毎日リアルタイムに収集・分析し、事故発生リスクの高い危険地点を特定。この危険地点に車両が進入した際、自動的に音声で警告し、ドライバーに安全運転を促す。

サービス利用には、ネットワークデジタル「DTS-C1」またはドライブレコーダー付きの「DTS-C1D」が必要。

提供価格は、リアルタイム運行支援、動態把握、地図ソフト、通信費、Q&Aを含め、1車両につき月額2688円(税込み)、ドライブレコーダー連携機能付きは月額3003円(税込み)。

・問い合わせ先は、同社情報機器営業部(☎045・476・4640)まで。